

サメのコップのひみつ

私立日堯星小学校 | 年 名前 なかじまよしとぎ

1. けんきゅうのさっかけ

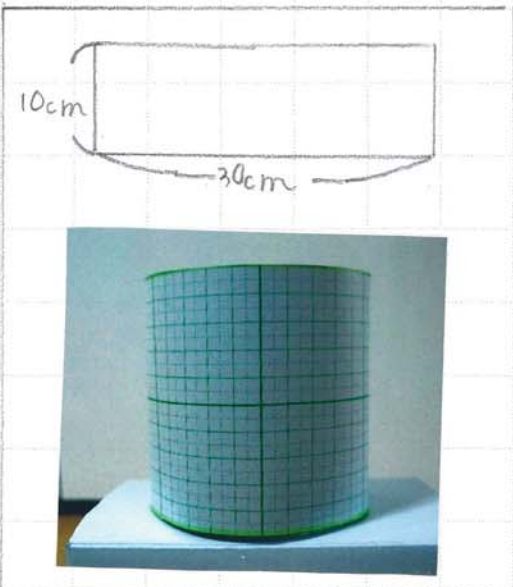
ぼくはなつやすみに、
 かがくはくぶつかんの
 とくべつてんを見にい
 き、きねんにサメのコ
 ップをかってもらった。
 ぼくはこうさくがすき



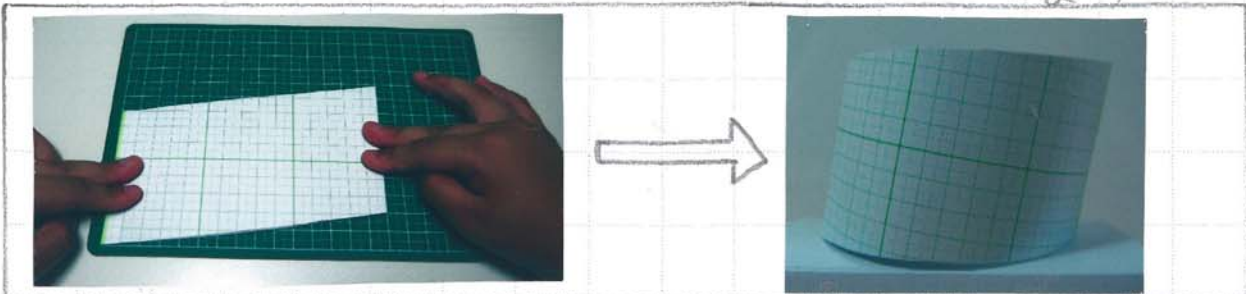
なので、いえにかえってあつがみでこ
 れとおなじかたちをつくることにした。

2. けんきゅうのほうほうとけっか

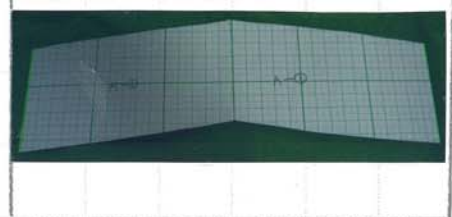
さいしょにあつがみ
 をたて10cm、よこ30cm
 にきってまるめた。そ
 のけっか、ふつうの
 「つつ」にしかならな
 かった。そこで、この
 「つつ」をおしつぶし、
 上と下をななめにき



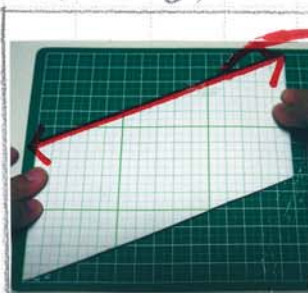
てから立ててみた。するとコップとおなじような「ななめのつつ」になった。



この「ななめのつつ」をひらくと、山のようなかたちになっていた。このかみをまるめるとサメのコップとおなじようなかたちができることがわかった。



けれどももぼくがつくった「ななめのつつ」は、コップほどななめにならなかつたので、まん中をもっととがらせたかたちをらしめるいつくつてみた。くみてるると、山をもっととがらせればとがらせるほどななめがきつくなるだけでなく、つぎのひょうのように「ふと



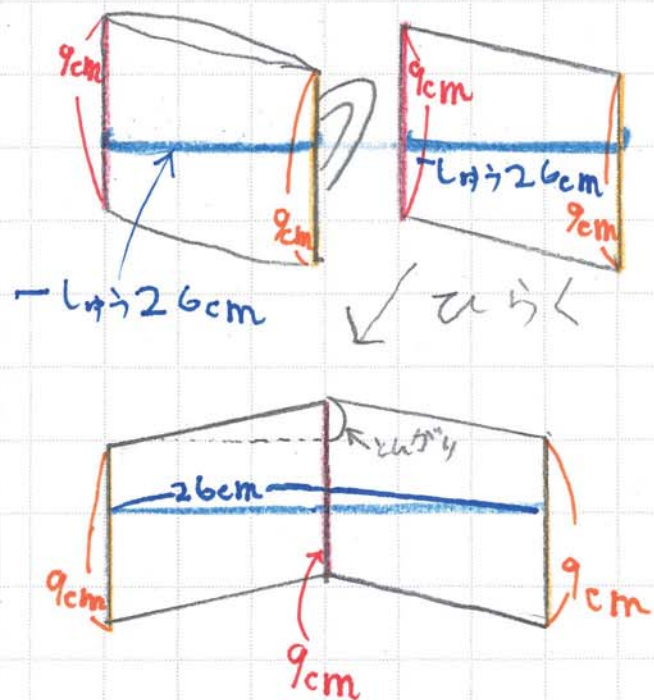
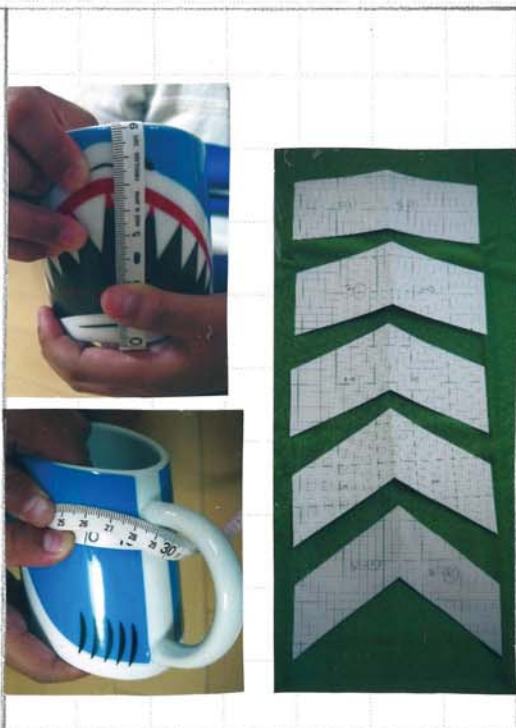
口のながさ
つつのたかさ



たななめのつつ」になっていった。

	4のとんがり (5-15cmでいならぬcm上がたが)	口のながさ	つつのたかさ
A-①	2 cm	15 cm 1 mm	7 cm 8 mm
A-②	4 cm	15 cm 5 mm	7 cm 7 mm
A-③	6 cm	16 cm	7 cm 4 mm
A-④	8 cm	17 cm	7 cm
A-⑤	10 cm	18 cm	6 cm 4 mm

りつつくってみたけれど、本ものの
サメのコップより「ふとっ」た「つつ」し
かっくれなかった。ぼくはどんなかた
ちのかみをまるめれば「たななめのつつ」
になるかもうあがたので、本ものの
サメのコップのながさをはかって、お
なじくらいの大さきさのものをつくるこ
とにした。



	山のとんがり (よこ13cmでななへん上が ^{つぎ})	口のながさ	つぎのたかさ
B-①	2 cm	13cm	9 cm
B-②	4 cm	13cm 6 mm	8 cm 6mm
B-③	6 cm	14cm 3mm	8 cm 2mm
B-④	8 cm	15cm 3 mm	7cm 8mm
B-⑤	10 cm	16cm 4 mm	7 cm 2mm

これでだいたい、
サメのコップとお
ない大ききの「な
なめのつぎ」が
つくれた。

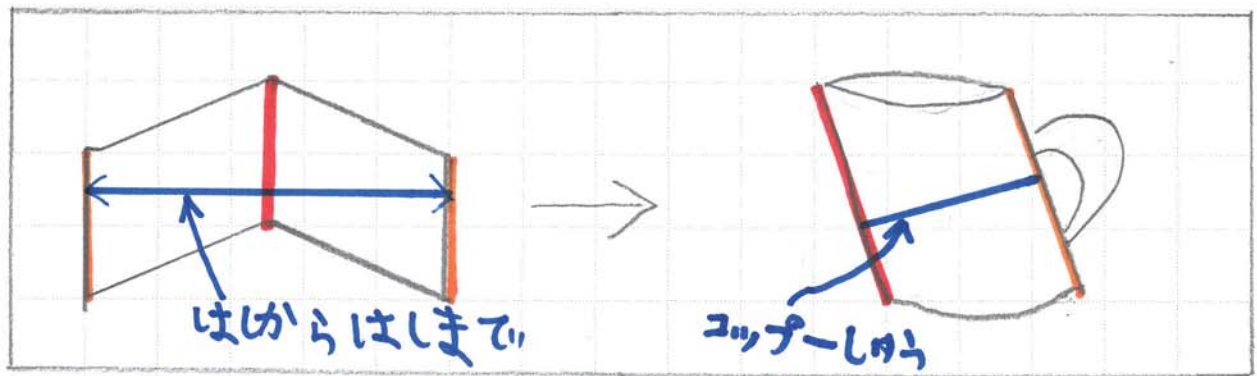
B-③とおないくらい



3. けんきゅうのまとめ

こんかいのけんきゅうで、つぎのこ
とがわかった。

- (1) 「ななめのつぎ」をつくるには「山
のかたちのおび」をつくって、それ
をまるめるとよい。
- (2) 山がとんがっているほど「口のなが
さ」がながくなり「ななめのつぎ」
のたかさがひくくなる。(とがる。)
- (3) つぎのえの赤がだいたい青のせん
が、コップのそのいろいろのながさとお
ないになる。



4. けんきゅうのかんそうとかだい

「ななめのつつ」は、あんがいつくるのがおずかしかった。でも、こんかい、どのようなかたちのかみをまるめれば、どのような「ななめのつつ」をつくれるかおがった。これを見れば、いつでもつくれるとおもう。

でも、本もののサメのコップは、口のぶぶんがまるかっただのに、ほくのつくれた「ななめのつつ」は口がとがっていた。もっと本もののコップにちかいたちにするにはどうすればよいか、これからをもっとけんきゅうしてみたい。

